



研究テーマ

1 生涯学習支援のための情報提供のあり方に関する研究

2 学社連携・融合の方法

3 地域と学生（大学）の相互「関係人口」化のための研究



高橋 利行

たかはし としゆき
研究・産学地域連携推進
機構

産学・地域連携部門

准教授

キーワード

生涯学習、生涯学習支援、
学習プロセス、学習ステッ
プ、生涯学習支援情報、ネ
ットワーク、教育・学習資
源、学社融合、学社連携、
関係人口、相互「関係人口
」化

特許情報・
共同研究・
応用分野など

研究概要

人々が、自己に適した手段・方法を選びながら学習を進めるためには、さまざまな教育・学習資源に関する情報が入手できるようになっていることが必要となります。このような情報の面から、人々の生涯学習を支援する方法などについての研究を行っています。例えば、学習の各ステップで、どのような種類の学習情報が必要となるのか、などについて検討してきました。

最近では、学生が地域の関係人口となることを促進するような教育プログラムの構築についての研究にも取り組み始めています。

1 生涯学習支援のための情報提供のあり方に関する研究

最適な生涯学習支援情報ネットワークとはどのようなものであるのかを明らかにすることを目指しています。そのために、まず、生涯学習支援情報と学習プロセスとの関係の視点から、どのような検索機能が求められるのか、エージェント機能を取り入れた場合にどのような生涯学習支援情報ネットワークとなるのかなどについて検討してきました。

また、ネットワークの構造そのものがもつ効果の視点から、弱い結びつきに期待される効果の一端と、どのような導入の仕方が考えられるのかについても検討を行ってきました。

2 学社連携・融合の方法

学校、家庭、地域が協働して、こどもの教育を行うことが求められています。そのための1つの方法として、学社連携・融合という方法があります。しかし、実際の学校現場で、このような取組を行うことには大きな負担感が感じられることも少なくありません。この負担感をどのようにしたら少しでも軽減できるのかを考えていきたいと思っています。

また、取組を立案する際には、問題解決的な手法を取り入れ、発散的思考法を重視して、さまざまな教育・学習資源と学校や地域の期待とを、どのように結びつけていくことができるのかを考えていきます。

3 地域と学生（大学）の相互「関係人口」化のための研究

学生が地域の関係人口となることを促進するような教育プログラムの構築を目指す際に、その仕組みが持続性あるものとするためには、地域が学生（大学）の関係人口となること、ある地域が別の地域の関係人口となることなどを含めて、相互「関係人口」化を図っていくことが重要になると考え、研究を進めています。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

メッセージ

・学社連携・融合の取組でお困りの学校・地域等がありましたら、一緒に何かを考えていくお手伝いできればと思います。 ・共同研究の希望テーマ：エージェント機能の導入による学習支援に関する研究、相互「関係人口」化に関する研究